

第 1 次 上里町観光振興ビジョン

Kamisato Town Tourism promotion Vision

〔 計画期間：令和 8 (2026)年度～令和 13(2031)年度 〕

令和 8 (2026)年 3 月



◆ トップメッセージ

私たちの上里町において、観光を振興する「意義」――

本町は、埼玉県最北端、都心部から 85km 圏に位置し、古くは上野・信濃と江戸とを陸運や舟運で結ぶ交通の要衝として、農業や養蚕業を中心に発展してきました。平成 27 年には、関越自動車道上里スマート IC が開通し、埼玉県の北の玄関口としての重要な役割を担っております。また、関東地方 4,360 万人の大消費地で、上里スマート IC のみならず東日本有数の利用者を誇る関越自動車道上里 SA を有するなど高いポテンシャルを秘めており、観光というイメージが希薄ながらも、先人たちが築き上げてきた歴史や文化を礎とした魅力ある多彩な観光資源を持ち合わせております。



観光は、易経の一文である「観国之光」が語源とされ、その国の「文化、政治、風俗をよく観察すること」「風光・文物を外部の人々に示すこと」というような意味を有していたと言われております。そのような語源を勘案しますと、いわゆる観光の定義は名所旧跡などの観光地へ訪れることだけではなく、地域ならではの価値や体験を愉しむことこそが観光の本質であり、それを提供することが地域として現代の多様化した観光需要に対応する方策であると考えております。

本町の総人口は、平成 22(2010)年をピークに減少傾向にあり、今後更に少子高齢化や生産年齢人口減少による地域活力の低下や経済成長の停滞が危惧される昨今において、地域振興や雇用の創出、シビックプライド醸成など、観光が担う役割の重要度が增大しています。こうした社会情勢の変化や観光需要の高まりを踏まえ、本町では町民の皆さまをはじめ、事業者、団体、行政などのあらゆるステークホルダーが上里町の将来像を共有し、各々が担う役割を果たしながら持続可能な観光地域づくりを推進するための指針として「第 1 次上里町観光振興ビジョン」を策定いたしました。

観光振興は、10 年のストックにより形成されるとも言われており、地域の皆さまとの協働・共創が不可欠です。今後、本ビジョンに基づき、皆さまとチーム上里で観光振興を積極的かつ戦略的に推進し、上里愛の醸成と「選ばれるまち、住み続けたいまち」の実現に向け邁進して参ります。

結びに、本ビジョンの策定に当たり多大なるお力添えを賜りました上里町観光振興ビジョン推進サポーターの皆さま、貴重な御意見や御提言をお寄せくださいました町民の皆さまや関係各位に心より御礼申し上げますとともに、引き続き観光行政の推進にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 (2026)年 3 月

上里町長 山下 博一

目 次

第1章. 第1次上里町観光振興ビジョン策定に当たって

1-1 背景と趣旨	1
1-2 位置付けと期間	2
(1) 本ビジョンの位置付け	2
(2) 本ビジョンの計画期間	2
1-3 策定プロセス	3
1-4 対象とする観光の範囲	3

第2章. 上里観光を取り巻く現状と課題

2-1 グローバルトレンド	4
(1) 新型コロナウイルス感染症による影響	4
(2) VUCA・BANI の到来	4
(3) 持続可能な観光	5
(4) デジタル技術の進歩とDX	7
(5) 少子高齢化と人口減少	8
2-2 国及び埼玉県の動向	9
(1) 国の動向	9
(2) 埼玉県の動向	13
2-3 上里町の実態	15
(1) 特徴と地勢	15
(2) 産業構造	16
(3) 観光の位置づけ	17
2-4 現状と課題の整理	18
(1) 上里観光を取り巻く現状と課題	18
(2) 課題解決に向けた施策方向性の整理	26

第3章. 上里観光における理念と施策体系

3-1 上里観光の理念	29
(1) 私たちが観光振興を推進する意義	29
(2) 私たちが共に目指す姿	29
(3) 私たちの価値観・行動指針	29
3-2 基本戦略と施策方針	30
(1) 基本戦略1「戦略的・効果的な情報（魅力）発信」	30

(2) 基本戦略2「地域特性の高付加価値化」	31
(3) 基本戦略3「持続可能な観光地域づくり」	32
(4) 基本戦略4「担い手育成と地域参画促進」	33

第4章. 数値目標

4-1 数値目標	35
----------	----

第5章. 推進体制

5-1 ビジョン推進体制とステークホルダーの役割・責務	36
5-2 合理的根拠に基づく施策立案	37
5-3 ビジョンの進捗管理	37

参考資料